

事業所名

放課後等デイサービスひまわりくらぶ広中新聞

支援プログラム

作成日

2024年

9月

9日

法人（事業所）理念		「一人ひとりの声をカタチに」地域の皆様がその人らしく、自分らしく生きるため 療育支援を通じて地域社会に貢献していきます						
支援方針		サービスを提供する側と利用する側の対等な関係を保ち、各利用者の個別の事情や障害の内容・特性及びその程度や状態をきちんと把握し、「思いやり」を忘れず、サービスの質の向上に努め日々のサービスの提供を行う。						
営業時間		平日 14 時	平日 30 分から	平日 17 時	平日 30 分まで	※但し、平日は営業時間の前1～2時間の延長支援可能。 土日祝及び学校休業日は、15:30～16:30までの延長支援可能とする。	送迎実施の有無	有り
		支 援 内 容						
本人 支 援	健康・生活	○日々の健康状態の確認、自分自身で清潔を保つサポート→日々のチェックと必要な対応、行動から心身の異変に気づく(観察)利用中に体調の変化がある場合には適切な対処 (例：医療機関への受診、保護者への状況の報告等)を行う。 ○身辺自立に向け、各自に合わせた基本的な生活習慣の形成→食事、着替え、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう一対一での対応や視覚情報の提示等を行う。 ○自立して生活していける生活習慣や生活リズムの形成→日々の活動の中で、必要に応じ助けを求めながら、自分で生活リズムや習慣を形成する。						
	運動・感覚	○各自に合わせた運動機能の保持・向上（基本的技能、姿勢保持、身体の移動能力） ○各自に合わせた感覚の補助及び代行手段の手助け ○感覚の特性への対応						
	認知・行動	○各自の認知の特性に合わせ、外部環境への適切な認知と適切な行動の習得 ○行動障害への予防及び対応						
	言語 コミュニケーション	○各自に合わせたコミュニケーション能力の向上 ○人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得						
	人間関係 社会性	○アタッチメント（愛着）の形成と安定 ○遊びを通じた社会性の発達 ○自己の理解と行動の調整 ○仲間づくりと集団への参加						
家族支援		○アタッチメント（愛着）の形成 ○家族（きょうだいを含む。）からの相談に対する適切な助言等 ○障害の特性に配慮した家庭環境の整備助言等			移行支援		○保育所等への移行支援 ○ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備 ○保育所等と併行利用している場合における併行利用先との連携 ○同年代のこどもをはじめとした地域における仲間づくり	
地域支援・地域連携		○通所するこどもに関わる地域の関係者・関係機関と連携した支援			職員の質の向上		日々のミーティング、月1度の研修の中で、児童のかかわり方、防災、緊急時対応等伝えていき、職員の研鑽を図る。	
主な行事等		地域交流も兼ねた「ひらそる参観日」 外出レク（屋内・屋外。心身の発散、地域交流、社会性をはぐくむ） クッキング（昼食・おやつ作り） お買い物支援(地域のお店で買い物) スポーツ会館を活かした体操レク、運動の機会確保、みずあそび						